

【参考】

麻しん（はしか）について

1 症状

感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者 1000 人に 1 人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても 1000 人に 1 人と言われています。

2 感染経路

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行う。

5 県内の発生状況（麻しん届出数）

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
三重県	2	1	5	1	0	6	8
全国	4 3 9	2 8 3	2 2 9	4 6 2	3 5	1 5 9	9

三重県は 2017 年第 5 週（1 月 30 日～2 月 5 日：2 月 7 日現在）

全国は 2017 年第 4 週（1 月 23 日～29 日：2 月 7 日現在）

【県民の皆様へ】

- ・麻しんは予防接種が有効です。定期予防接種は早めに確実に受けましょう。
- ・麻しんにかかった（検査で診断された）ことがない方が海外渡航される時には、あらかじめ麻しんの予防接種歴を確認し、麻しんの予防接種を 2 回受けていない場合、又は接種既往が不明の場合には予防接種を受けることをおすすめしています。

〈定期接種対象者〉

第 1 期 1 歳以上 2 歳未満

第 2 期 5 歳以上 7 歳未満の者であって、小学校就学前の 1 年間